

鼻翼基部形成術とは

鼻翼基部形成術とは、人工物またはご自身の身体から軟骨を採取し鼻翼基部に移植し、形を整える手術です。軟骨採取部位は耳の裏側（耳介軟骨）、肋、鼻中隔などがあります。

術後の状態・ケアについて

・手術当日と翌日は長時間の入浴はなるべく避け、ぬるま湯で軽いシャワーを浴びる程度にしてください。術後1週間程度は血流が良くなることでの腫れを防ぐため、熱いお風呂を避けていただくことをおすすめします。

・基本的には吸収糸で行いますので抜糸は必要ありません。口腔内の場合は創部の清潔を保つため抜糸までうがいをしていただきます。

・メイクは抜糸以降可能ですが、最初のうちは周辺に触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。

・術後は、しばらくの間周囲に強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間程は周囲が不安定な時期のため、十分に注意して生活してください。術後は場合により手術部位をテープで固定する場合があります。

・飲酒・運動・入浴は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

鼻翼基部形成術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】 鼻翼基部周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【痛み】 局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】 当日より若干の腫れが起こります。概ね1～2週間ほどで腫れは引いていきます。

【しびれ・知覚鈍麻・麻痺】 細い神経の損傷により一次的にしびれや感覚障害、麻痺が生じる場合があります。

【感染】 術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服や外科的処置が必要となる可能性があります。

【左右差】 手術直後より左右差が出ることもあり、ダウンタイム中はとくに左右差を強く感じる場合があります。元々人体は左右非対称であり、また個々の鼻の形、筋肉の動き、普段の生活上の癖や表情の作り方などが原因で、完全な左右対称や完璧な理想の形にはならない場合があります。

【皮膚の菲薄化、移植物の露出】 移植物が当たる部分の皮膚または粘膜が薄くなることで発赤したり、移植物が露出することがあります。

【肥厚性瘢痕（ケロイド）】 ケロイド体質の方は傷が治る過程で皮膚が盛り上がってしまう場合があります。その場合、別途瘢痕に対する治療が必要になります。

鼻翼基部形成術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、鼻に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。